

令和6年度「船上山ピザ祭り」 実施報告書



I 事業の概要

1. 期日 令和6年12月7日(土) ※日帰り

2. 日程

9:00	受付
9:30	出会いのつどい
9:50	食材ゲット野外オリエンテーリング (雨天:食材ゲット館内オリエンテーリング)
11:10	ピザ作り
14:30	感想記入 解散 ※感想記入後、家族ごとに流れ解散

3. ねらい

- ・ピザ作りをすることで家族の交流を図り、つながりを深める。
- ・トッピングを工夫して、ピザ作りを楽しむ。
- ・食材ゲットオリエンテーリングを通して、船上山の自然を楽しむ。

4. 対象 小中学生とその保護者 12組

5. 応募者数 23組(69人)

6. 参加者数 11組(31人)

7. 参加費 1組 2,850円(食費、活動費) + 保険料(1人あたり150円)



II 実施状況

船上山少年自然の家の人気企画、船上山ピザ祭りに11組31名の家族が参加した。出会いのつどいでは、職員自己紹介の後に家族ごとに自己紹介を行い、温かい雰囲気の中で船上山ピザ祭りがスタートした。

出会いのつどい後、アイスブレイクとレクリエーションを行った。ピザにちなんだアイスブレイクや「ピザの宅配便」のゲームなどを通して、参加者間の仲が深まった。

食材ゲットオリエンテーリングは館内での実施となった。ピザについてのクイズを解いて回り、見事すべての参加者がピザの食材を獲得することができた。

ピザ作りの説明は、作業全体を把握しやすいように、まずは3分程度



の動画を見ていただいた。その後、食堂に移動し、いよいよピザ作りが始まった。

粉からこねていく生地作りに、ワクワクしているような表情がたくさん見られた。トッピングでは、こちらから配付している食材以外にも、食材の持ち込みを可能としていたので、多くの家族が缶詰やマッシュマロなどの食材を持ち込まれ、個性に富んだトッピングを楽しんでいた。

焼き場では、それぞれの家族の焼き係がダッチオーブンを使って、自分たちのピザを焼いた。焼きあがった熱々のピザを家族ごとに食べていただき、「お店のピザよりおいしい!」など、自分たちのオリジナルピザに満足そうな様子がたくさん見られた。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 子どもといっしょにピザ作りが出来たととても楽しめました。最後の片づけまで自分たちで行うことで普段あまり手伝うことのない子どもも積極的に動いてくれて良い体験が出来ました。ありがとうございました。
- ・ 家からもってきたしよぐざいで、おかしのようなピザができました。おかしのようなピザの上にチーズをのせたらとてもおいしかったです。
- ・ ピザ作りの時に、家族で協力して作れたのでよかったです。おいしいピザができてよかったです。



2. 成果

- ・ 天候や気温の関係で館内での活動になったが、館内での活動もピザと関連付けて行うことで楽しんでいただくことができた。
- ・ トッピング具材の持ち込みを許可することで、より参加者に主体的にピザ作りを楽しんでいただけた。
- ・ 本格的なピザを初めて作った、という感想を多くいただいた。ピザ作りやオリエンテーリングを通して、親子のふれあいの時間になった。



3. 課題

- ・ 今回、ベーシックピザ以外の普段船上山では作らないピザを作ったが、必要な道具の準備が不十分だったため、道具をリストアップしておく必要がある。
- ・ 館内オリエンテーリングの際に、食材などが準備してある食堂はコースから外す必要がある。
- ・ 食堂の焼き場への出入り口近くの机は、寒さ対策や動線確保のため使用しない方がいい。